

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・21世紀型まちづくりの構想が徐々に築き上げられてきた。この流れに乗って中心街の再生を期したい。
		商店街（事務局長）	・4月中旬に大型商業施設がオープンしたことに伴い、近隣の店舗では改装やテナントの入替えをするなど、より魅力のある商業集積へと変化していることから先行きはやや良くなる。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・気温の上がる季節を迎え、販売量が今後増えると考ええる。
		スーパー（店長）	・新規顧客獲得施策により来店客数の増加傾向が継続する見込みであることや、夏場の節電の影響から飲料や冷菓の伸びが期待できる。
		スーパー（企画担当）	・昨年商品不足であった商品が回復しているため、先行きはやや良くなる。
		乗用車販売店（役員）	・2～3か月後に新型車の投入が予定されていることに加え、景気も持ち直してきている。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・毎年、4月から8月まで順次売上が伸びているため、先行きはやや良くなる。
		通信会社（営業担当）	・夏に向けての販売拡大に期待する。
		観光名所（職員）	・4月後半に来客数がやや増加したため、先行きはやや良くなる。
	美容室（経営者）	・梅雨に入ると少し来客数が増えると思う。	
	設計事務所（所長）	・地価の下落によって、賃貸マンションの収支が改善しつつあり、建設が増えてきた。先行きはやや良くなる。	
	変わらない	商店街（代表者）	・多少、家賃が下がってきたこともあり、商店街内の空き店舗に新店舗が開店し出した。ゴールデンウィークに向けて改装するお店や集客力の高い業種に転換するショップも出ており、現状のまま推移すると思う。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・母の日や父の日を控えているが、早めに安い商品を予約する人が多くなっている。
		百貨店（営業担当）	・昨年の東日本大震災後より良くなっていると思うが、節電の影響が続き、先行きは予測できない。
		百貨店（営業担当）	・商品群により好不調がみられ、衣料及び雑貨類共に当用買いが目立つ。
		スーパー（店長）	・車のエコカー減税が継続されたことは、食品業界にとって少々逆風になっていると思う。
		スーパー（財務担当）	・消費税、電力、社会保障等の問題は直接消費に影響するため、今後、注視していきたい。
		コンビニ（総務）	・消費喚起するような施策がなく変わらず推移する。
コンビニ（商品担当）		・消費者にデフレ慣れの感が出てきており、販売数量を増やすには消費が上向く政策等が必要であるが、そのような施策はみられず、楽観視できない。	
衣料品専門店（経営者）		・良くなる材料がない。	
衣料品専門店（経営者）	・景気対策も具体的になく、今すぐに消費税が上がることもないため、可もなく不可もなく推移する。		
衣料品専門店（経営者）	・7月から大きな夏のイベント、バーゲンが始まるのでばん回できると期待しているが、現状をみる限り、まだ厳しい状態である。		
家電量販店（店長）	・去年はアナログ停波による特需があったが、今年は厳しく、それほど商品が伸びないと予想する。		
家電量販店（店員）	・今後新モデル登場で価格は上がると思われるが、その分買い控えが起こり総量的には変化がないと予想する。		
家電量販店（営業担当）	・手頃な価格の冷蔵庫や洗濯機が売れているものの、数量的に前年を大きく上回るものではない。来客数の回復にはまだ時間がかかる。		
乗用車販売店（従業員）	・政府が補助金制度を延長しない限り、販売量は落ちていく。8月頃までがピークではないかと予想する。		
乗用車販売店（営業担当）	・エコカー補助金が底を突くまでは、このまま推移すると思う。		
観光型旅館（経営者）	・5月、6月の予約状況がそれ程良くない。		
タクシー運転手	・今年は特に日帰り客が目立つ。マイカーでも列車利用でも日帰りする客が多くなっているという話があり、先行きは変わらないと思う。		
通信会社（営業担当）	・例年、ボーナス商戦に合わせて夏モデルの機種が登場するが、市場を沸かすほどの人気商品がでてくればと期待している。		

	通信会社（企画）	・大きな変動要因が無いことから、現状とは大きく変わらないと思われる。	
	ゴルフ場（従業員）	・来場者数と単価の減少が続いているので、今と変わらないのではないかと思う。	
	競艇場（職員）	・売上増が期待されるゴールデンウィークであるが、売上は年々減少している。また、6月から7月にかけて新スタンド工事が最終段階に入り、本場開催が休止となるため売上がつかめない。8月以降に期待したい。	
	美容室（経営者）	・先行きの不透明感がまだ続いている。今後も節約傾向は続くと思う。	
	住宅販売会社（従業員）	・新規の商談数も新しい展示場の来場数も伸びないので、先行きは変わらないと思う。	
やや悪くなる	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・連休明けの5月は普段以上に財布のひもが固くなり、景気回復の見込みもないため、売上は低迷するだろう。	
	コンビニ（店長）	・例年であれば気温の上昇とともに客数増、売上増になるが、4月の様子からはゴールデンウィーク後も節約ムードが続くと思われる。	
	乗用車販売店（従業員）	・ハイブリッド車などのエコカーを契約できても補助金申請が間に合わない状況が続く。7月まではあまり良い状態にならない。	
	乗用車販売店（従業員）	・エコカー補助金が3か月先には終了すると予想され、その後は反動もあり新車販売市場は非常に厳しくなると予想される。	
	旅行代理店（支店長）	・5月以降の旅行申込状況は、個人・団体共に前年を割り込んでおり、旅行を控える傾向が見受けられる。	
	タクシー運転手	・梅雨に入ると、お遍路さんの仕事が減っていくため、先行きはやや悪くなると思う。	
	設計事務所（職員）	・今後は徐々に仕事量が低下し、やや悪くなると思われる。	
悪くなる	スーパー（統括担当）	・来客数はあまり変わらないが、客単価が減ってきている。	
	住関連専門店（経営者）	・東日本大震災、特に原子力発電所問題が解決されておらず、悪い状態が続く。	
企業動向関連	良くなる	-	
	やや良くなる	食料品製造業（商品統括）	・委託工場の稼働率が徐々に上がってきている。また、円安に向かうにつれ、海外製造品の国内シフトの気運が強くなりつつあると感じている。
		繊維工業（経営者）	・昨年は国内大手企業の業績が厳しい一年であったが、今後は大幅に改善され、消費も拡大傾向になるとみている。
		木材木製品製造業（経営者）	・例年6月頃から若干上向きに転じる。また、着工数の状態からしても、若干良くなると思う。
		電気機械器具製造業（経営者）	・再生可能エネルギーの固定価格買取制度の価格が42円で答申された。決定になれば、大変忙しくなるとみている。
		輸送業（営業）	・都市部で飽和状態となった消費の拡大を地方に求める県外資本大手企業や量販店の進出が加速し、生産規模を縮小する企業や閉店に追い込まれる小売店が増えており、取扱物量は減少の一途である。大手に買収された地元企業も流通チャネルが変わる為、同様の影響をもたらす。
		輸送業（支店長）	・コスト面での費用増はあるものの、公共投資等の受注増により、先行きはやや良くなる。
		金融業（融資担当）	・東日本大震災、円高、株安など悪い材料も底が見え、前年同期と比べても良い方向に向かっていると感じる。また客からも同様の意見を聞くことが多い。
		不動産業（経営者）	・消費税増税の話もあり、しばらく様子見をしていた客たちに少し動きがはじめているような感じがする。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・新商品も導入したので、新規開拓をもっと積極的に行い、受注量を増やさなければと考えている。
電気機械器具製造業（経理担当）		・足元の受注数量はやや上向きであるが、今後3か月の受注数量の変動は少ないと予想している。ただ、多くの企業が医療機器に参入してきており、今後、厳しい価格競争が予想される。今年度後半は、再び厳しい経営環境になると想定している。	
建設業（経営者）		・工事が増える要素が見当たらない。	
建設業（総務担当）		・見積案件は一定数確保されているが、成約できるのは少ない。競争激化のなか、特命受注といえども採算割れの可能性があり、収益の改善は難しい。	
輸送業（経営者）		・良くなる雰囲気はあるものの、先行きは変わらないと思う。	
通信業（部長）		・先行きの不透明感もあり、当面は景気動向に変化は無いと考える。	
	広告代理店（経営者）	・県外得意先の新規広告・求人広告等の受注は多少見込めるが、地元資本の得意先は広告費削減が続いており、全体としてあまり変わらない。	

	やや悪くなる	鉄鋼業（総務部長）	・海外からの受注は6か月以上のタイムラグがあるため、昨年円高時の影響が最近出始めており、先行きはやや悪くなる。
		通信業（総務担当）	・前年同月と比較すると、大幅に業績が落ち込んでいることから先行きはやや悪くなる。
		広告代理店（経営者）	・印刷業界の淘汰が進んでいることや資材関係の価格上昇が想定されている。
		公認会計士	・不動産価格の下落、金融関係の変化を気にしている経営者が多く、設備投資には非常に消極的になってきている。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
		求人情報誌製作会社（従業員）	・夏休みにはアルバイト等の求人数が増えてくると予想される。
		学校〔大学〕（就職担当）	・前年同時期に比べて求人数が増えており、採用活動の活発化が感じられる。また1件あたりの求人数も増えている。
	変わらない	人材派遣会社（営業）	・新年度の体制が始まって、夏を迎えるまでは雇用の変動に影響は出ないと考え。経験スキルのほかに、人格、性格などのヒューマンスキルを採用条件に求める傾向が顕著に現われている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ガソリン価格が下がる気配もなく、節電のかけ声も大きくなり、節約意識が徹底され、先行きは変わらない。
		職業安定所（職員）	・今後も月間有効求人倍率は横ばいで推移する。
		職業安定所（職員）	・求人数は増加傾向にあるものの、65%が非正規で、正規雇用は低調である。先行きは変わらない。
		民間職業紹介機関（所長）	・新年度に入り、企業の高揚感を期待しているが、安定経営に至っている企業は少ない。先行きの不透明感もあり、営業戦略を見通せない経営者が多く見られる。
	やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・労働者派遣法改正が景気に影響すると考える。
	悪くなる	-	-